

項目	内容
名称	バコパモニエラ、バコパ [英]Bacopa monniera、brahmi [学名]Bacopa monniera、Bacopa monnieri
概要	バコパモニエラは、ヨーロッパ、北アフリカ、アジア、南北アメリカに分布する、湿性の多年草で、陽当たりのよい水田、池などに見られる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オトメアゼア (バコパモニエラ) 全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。</li> </ul>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バコパシド I,II, III, IV V、バコパシド A, B, C、バコパサポニン Gなどのステロイドサポニンを含む (<a href="#">PMID:11576596</a>) (<a href="#">PMID:12576661</a>) (<a href="#">PMID:12502309</a>) (<a href="#">PMID:17394105</a>)。</li> </ul>
分析法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バコパシドとアピゲニンをHPLC-ELSDで分析した報告がある (<a href="#">PMID:19606439</a>)。</li> </ul>
有効性	
ヒトの循環器・呼吸器での	調べた文献の中に見当たらない。

評価	消化系・肝臓	<p><b>RCT</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過敏性腸症候群患者169名 (試験群57名、平均29.2歳、インド) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、バコパモニエラ2 g×3回/日とベルノキ果実 3 g×3回/日 を6週間摂取させたところ、症状の再発に影響は認められなかった (<a href="#">PMID:2697693</a>)。</li> </ul>
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	<p><b>RCT</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な成人76名 (平均49±7歳、試験群37名、オーストラリア) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、バコパモニエラ抽出物300 mg/日 (体重90 kg未満の人) もしくは450 mg/日 (体重90kg以上の人) を3ヶ月間摂取させたところ、記憶能力評価 (新情報の保持率) の上昇が認められた。一方、学習、注意、言語と視覚の短期記憶、知識の検索、日常記憶機能、不安レベルに影響は認められなかった (<a href="#">PMID:12093601</a>)。</li> <li>・健康な成人66名 (試験群33名、平均42.9±7.5歳、インド) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、バコパモニエラ抽出物450 mg/日を12週間摂取させたところ、記憶能力評価 (記憶力、情報処理能力、認知機能、不安レベル) に影響は認められなかった (<a href="#">PMID:23354535</a>)。</li> <li>・健康な高齢者54名 (平均73.5歳、試験群24名、アメリカ) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、バコパモニエラ抽出物300 mg/日を12週間摂取させたところ、言語に関する記憶能力の評価 (Rey聴覚性単語学習課題) の向上が認められた。一方、他の知能評価方法 (分割的注意、ウェクスラー成人知能検査) に影響は認められなかった (<a href="#">PMID:18611150</a>)。</li> </ul>
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)  
[\(PMID:19606439\) J Sep Sci. 2009 Aug;32\(15-16\):2812-8.](#)  
[\(PMID:11576596\) Phytochemistry. 2001 Oct;58\(4\):553-6.](#)  
[\(PMID:12576661\) Chem Pharm Bull \(Tokyo\). 2003 Feb;51\(2\):215-7.](#)  
[\(PMID:12502309\) J Nat Prod. 2002 Dec;65\(12\):1759-63.](#)  
[\(PMID:2697693\) Indian J Med Res. 1989 Dec;90:496-503.](#)  
[\(PMID:12093601\) Neuropsychopharmacology. 2002 Aug;27\(2\):279-81.](#)  
[\(PMID:18611150\) J Altern Complement Med. 2008 Jul;14\(6\):707-13.](#)  
[\(PMID:17394105\) Planta Med. 2007 Apr;73\(4\):380-3.](#)  
[\(PMID:23354535\) Psychopharmacology \(Berl\). 2013 May;227\(2\):299-306.](#)  
[\(PMID:24566323\) Molecules. 2014 Feb 24;19\(2\):2588-601.](#)
- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳  
[\(PMID:27030208\) J Sci Food Agric. 2017 Jan;97\(1\):333-340.](#)  
[\(PMID:24449518\) Phytother Res. 2014 Sep;28\(9\):1419-22.](#)
- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)  
(79) The Essential Guide to Herbal Safety Elsevier (2005)  
[\(PMID:24015255\) PLoS One. 2013 Aug 28;8\(8\):e72517.](#)